

## 詠草一覽

- |    |   |                                |
|----|---|--------------------------------|
| 1  | * | 座布団を引っこ抜かれて頭から派手に床へと倒れこみたり     |
| 2  | * | 人生は多分大喜利座布団を取って取られてオチがつくまで     |
| 3  | * | 座布団をおざぶと呼んでいた祖母の隔世遺伝にて背は伸びた    |
| 4  | * | 「青雲」の歌を褒められ祖母の膝座るあの日の栗飯香る      |
| 5  | * | スポーツが好きだったパパ気づいたら落語を好きになってたよ喜寿 |
| 6  | * | 洒落・皮肉とばせば蝶に変わらんか昨夜の君は紫式部       |
| 7  | * | 一生をさかさに振って言うだけじゃれ 哄笑ふかく霧の大喜利   |
| 8  | * | 秋の夜ネコの太ももかじる犬しめしめ今日は落ち葉の香り     |
| 9  | * | この生の仕舞いにみせる最高の演目として父は笑った       |
| 10 | * | 大喜利の答えのように明快な事あるといい新年だから       |
| 11 | * | 到津の森にスタバができるってどうぶつの森みたいに云うね    |
| 12 | * | バカリズムならどう埋める海沿いのあちこち剥げたままの看板   |
| 13 | * | マスクした姿でいいねが付きました口裂け女にもう戻れない    |

14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

ドル円の逆流で破産しちゃってよ、みんな歌丸がわるいんだ

鶴光はねつるこってゆうんだほんとはねだけど「鶴光でおま。」おかしいね鶴光

「もう二度と描かないでくれこの街を」ガチギレされた風景画とは？

大切りは故郷スイスの安楽死ヌーベルバーグ座ここに閉館

ととのうもとのわないもなくなってどんより雲が僕にかかつて

多情なる判者鉄幹ざぶとんを晶子に二枚登美子に三枚

ひとりではできない大喜利上書きの上書き上書き花火を上げる

ハンバーグや デミグラスソース 西洋の旨しタレの海に沈む。浮ゐて、進んで、胃袋に入る。

座布団を重ねるやうにファミコンのマリオと燃ゆる小六の夏

メンタルを潰さないよう大喜利の若い座布団はあたたかい

手を挙げて「かぶりました」とフリップを出していくのが六回続く

大喜利の輪に入れなかった御祀りに月蝕おちてみんなしんじやえ

悪魔にも大喜利参加の権利ありナチス広島現下の世紀

明るすぎる夜だなそして朝は夜に似ているだめだ死者は死なない

ひとつつつ時の欠片を箱に入れこころのしまつ白きみちへと

43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29

\* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \* \*

大喜利のように生きよう麻薬よりサウナが良くて散歩が良くて

留守宅にツリー届ける午後十時 セリフをいれて安らかにせよ

友達の話聞いておちを待つ大喜利に慣れ親しんだ身は

ひいらぎの花が匂えり鼻先に大喜利みたいな暮らしに不意に

みどりごのあうあうぶぶを出鱈目に訳す新春実家大喜利

「大喜利とときまして」「それをいうならかけまして!」「そう、かけましてやね」

大向こうの絶えて久しい歌舞伎座よ 奈落の妖しも出にくかろう

行儀よくガラスの箱に座りおり宝石植物骨と造形

地上波の映らぬモニター睨みこみゲームチャットの欄で大喜利

子育てと掛けたらパンが焼けまして、このそれぞれよ「こめこのろーる」

吹き出しが真っ白になり心にもないことばかりを載せてく笑えよ

拾うたび光るお題を解きながら進めヘンゼル立てグレーテル

なんとかとかかけて答えの出ないまま君かくれゆく芒が原へ

気がつけば大喜利みたいになっていたこの会議室西日が強い

エールとかカネとかコネは無いけれど座布団だけは君にあげたい

44

\*

明るいほうの月まで歩くと、どうなる？ と彼女は言い、あるいて歩く

45

\*

大喜利は好きですか？と唐突に聞かれた 春の端くれだった

46

\*

うまいこと言って笑って その間に落ちた自分を拾って帰る

47

\*

するってえとアンデス山脈たどこにあんです？どうもあつしは地理にうとくて

48

\*

秋の国道に現代短歌の汁<sup>しる</sup>ぶちまけている担々麵

49

\*

「全部取れ！」あの豪快な先代の円楽師匠の大喜利がいい